

(様式2)

校 種	④ ・ 中 どちらかに○	学校番号	3 9	学校名	宇都宮市立城山中央小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	--------------

平成27年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 学習内容定着度調査などから

- ・ 国語では「話すこと・聞くこと」については、どの学年でも宇都宮市の平均と同等もしくは上回っている。他の観点については、ほぼ市の平均と同等か若干下回っている。言語についての理解は概ねできているが、漢字を正しく読むことはできるが正しく書くことについては個人差が大きい。日常の活用においても学年や個人においてばらつきがある。
- ・ 算数でも学年によって多少の差があるが、どの観点についても、市の平均と同等もしくは若干下回っているものが多い。特に「数量や図形についての技能」については6年生は市の平均と同等であったが、4・5年生はともに大きく下回っている。

(2) 学習と生活についてのアンケートなどから

- ・ 勉強が好きであるかどうかの質問は、26年度の1年生から5年生までは肯定的割合が宇都宮市より高いが、26年度の6年生は低い。
- ・ 「学校の授業がわかるか」という質問では、ほとんどの学年で宇都宮市よりやや高くなっている。
- ・ それぞれの教科が好きという割合は学年や教科によってばらつきがあるが、宇都宮市よりも全体的に高い傾向にある。また、「話すことや聞くこと」に力を入れ指導してきたこともあり、複数の学年で、道徳や学級活動や会話科など、自分の考えを述べることが多い学習で肯定的な割合が宇都宮市よりも高かった。
- ・ 家庭学習の時間については、低・中・高学年に応じて手引き等を活用し、学年相応に取り組んでいるが、個人差も大きい。
- ・ 学習への取り組みについては、市の割合を大きく上回っている項目が多く、席に着き、落ち着いて学習に集中していることが分かる。また、学習したことをノートにしっかりとまとめている児童が多い。

(3) 授業等への取組状況から

児童は与えられた課題に対し、熱心に取り組み、きちんと最後までやろうとする姿勢が見られる。また、作業や体験を通した学習には、意欲的に取り組めるようになってきた。TTやかがやきルームにより、個に応じた指導も充実し、基礎・基本が確実に身に付いてきている。また、わからないことはできるだけ自力で追究しようとする姿勢も身に付いてきた。しかし、まだ次のような問題点もある。

- ・ 適切な課題がなかなか見つけられなかったり、解決方法が身に付いていなかったりするために、最後まで自分一人の力で追究しようとする意欲が十分でない。
- ・ 自分の考えをもつことができるようになってきたが、既習の知識を生かして自力で課題を解決したり創造的に考えたり、友達と意見交換して考えを深めたりすることは

まだ十分でない。

- ・ 自分の考えをまとめて発表したり、自分の思いをのびのびと表現したりする児童が増えてきたが、個人差が大きく、不十分な児童も少なくない。

2 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

適切に課題を設定し、自力で解決したり、友達と意見交換して考えを深めたりする能力の育成

3 今年度の取組（「小中一貫教育・地域学校園」に関する取組は文頭に○、「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

（1）基礎・基本の確実な定着

- ☆○ 話の聞き方、発表の仕方、文章の書き方などの授業の心得の徹底（通年）
- ☆○ 個別指導を大切にしたり、「分かる授業」「楽しい授業」の展開（☆○ 漢字の読み書きや計算力の定着を含む）

（2）学習指導の工夫・改善

- ☆ 学習内容定着度調査・学習・生活アンケートの結果の公表（3月）
- ・ 学習のねらいや見通しをつかむことができる明確な課題の提示と、課題意識を高める工夫（通年）
- ・ 習熟度別学習やかがやきルームの活用、少人数指導等の効果的実施（通年）
- ・ 「聞く・話す・書く」活動を通して、考えを深めたり広めたりする手だての工夫（通年）
- ・ 学習活動における、自他を認め合う学び合いの場の設定（通年）

（3）読書活動の充実

- ☆ 全校一斉読書の実施（毎週2回、朝の時間）
- ・ 読書月間の実施（10月～11月）
- ☆○ 図書館便りの定期的発行（通年）
- 学年ごとの推薦図書の選定（通年）
- ・ 毎月1・2年は20冊、3～6年は10冊以上読んだ児童の表彰（10月、3月）
- ・ 読書記録をつけること（通年）
- ・ 読み聞かせの実施（通年）
- ・ 学級文庫の充実・補充（通年）
- ・ 家族読書の推進（通年）

（4）家庭・地域との連携・協力

- ☆ 「町の先生」などのボランティアの協力を得た授業や学習支援の実施（通年）
- ・ 保護者会において、前年度の学習内容定着度調査、学習・生活アンケートの結果を生かした学習指導の説明（4月）
- ☆ 個人懇談において、規則正しい家庭での生活についての情報交換の場を設定（7月）
- 適切な宿題や自主的な学習内容・方法の提示による家庭学習の習慣化（通年）